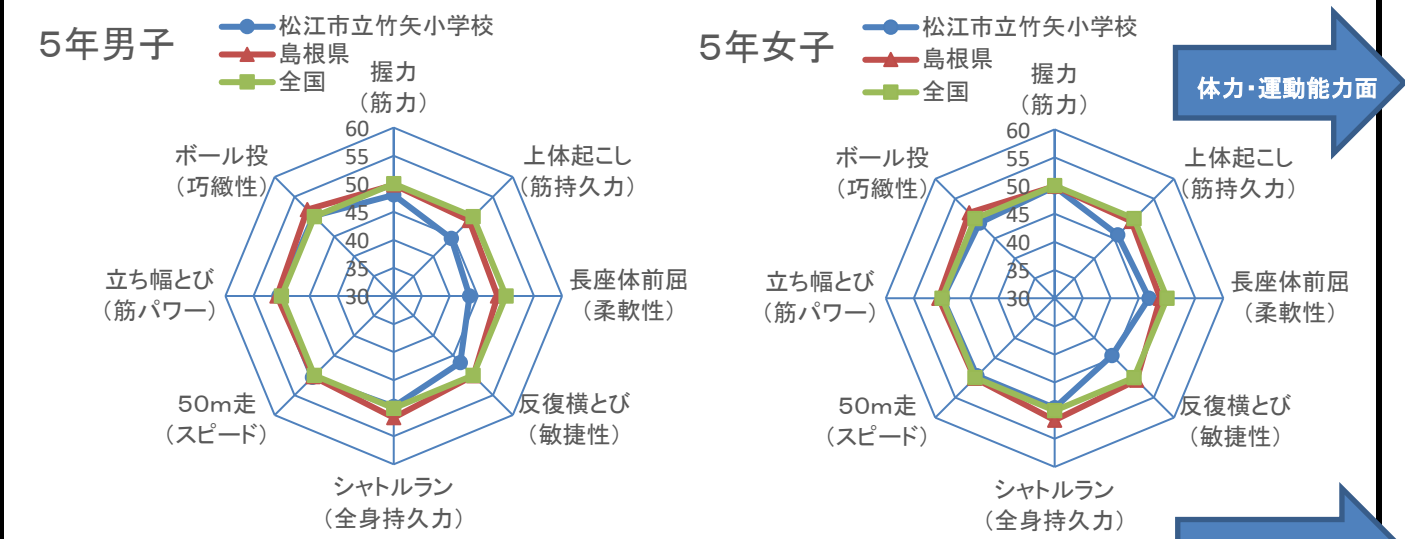
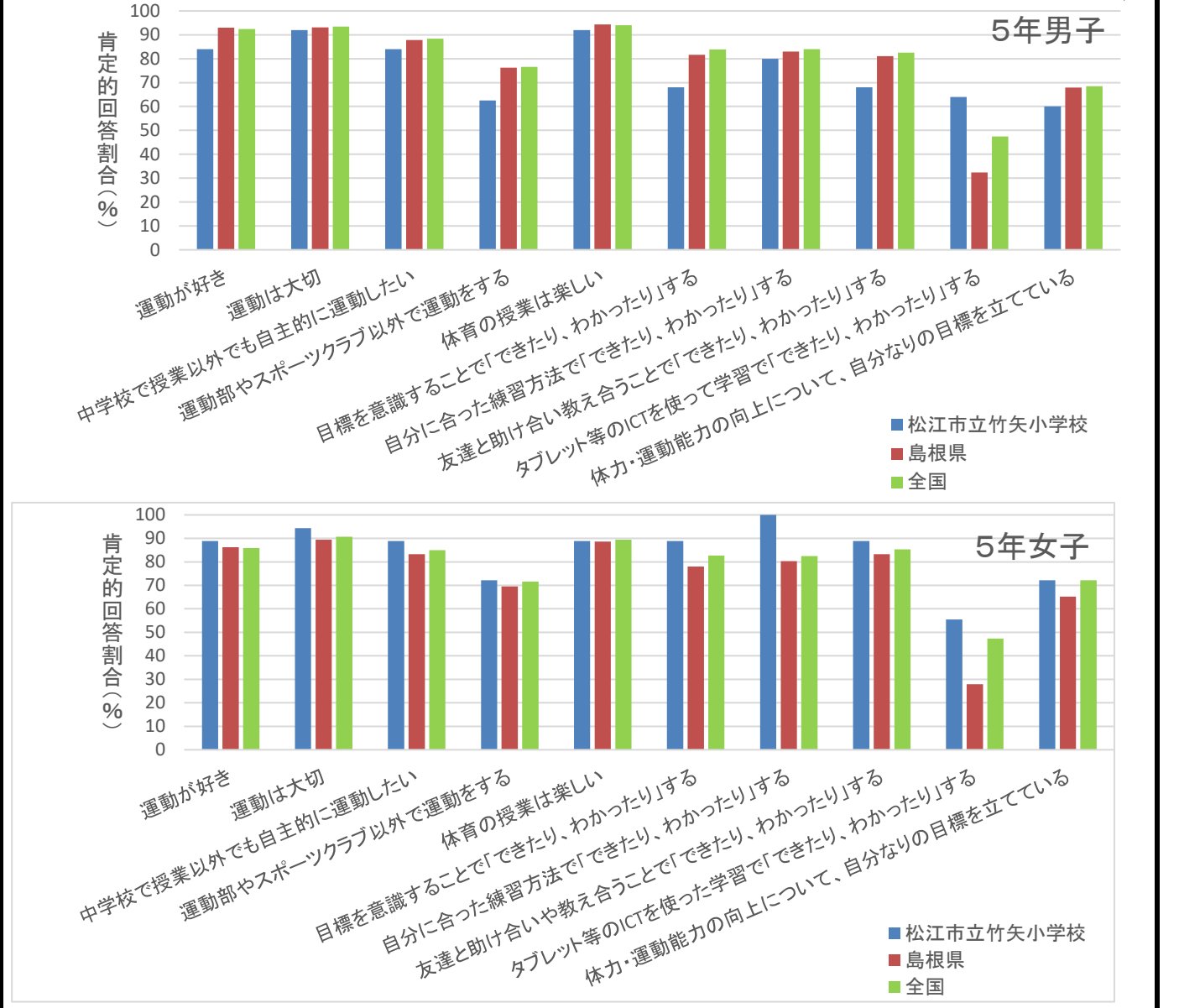


松江市立竹矢小学校

(1) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-2.0	-5.5	-6.5	-3.2	-0.3	0.5	0.5	0.2
女子	-0.2	-4.1	-3.2	-5.6	-0.5	-0.5	-0.1	-1.1

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	運動部やスポーツクラブ以外で運動をする	授業は楽しい	目標を意識することでできたりわかったりする	自分に合った練習方法でできたりわかったりする	友達と助け合い教え合いでできたりわかったりする
男子	-8.4	-1.4	-4.4	-14.1	-2.0	-15.9	-4.0	-14.5
女子	3.0	3.7	3.9	0.6	-0.6	6.2	17.5	3.6

タブレット等のICTを使った学習でできたりわかったりする

体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている

男子	16.5	-8.5
女子	8.1	0.0

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和5年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
- ・シャトルラン記録測定会についての提案。記録の変化から、子どもの持久力の伸びについて把握できるように努める。
 - ・体育関係の予算の使い方について全体に広げ、その都度、用具を購入できるようにしていきたい。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
- ・体育の授業を核として、運動への意欲喚起を図り、運動の日常化を目指す。
 - ・授業の中で
 - * 指導内容を明確にし、めあてとふり返りをより意識できるようにする。
 - * その運動が持っている楽しさを味わえる場面を保障し、実態に即した楽しみ方を工夫する。
 - * コツ見付けや動きの良さなどを伝え合う場を設定し、言語活動の充実を図る。
 - * 五種目歩走、サーキットを授業の中で適切に位置付けて実施する。
 - ・個に応じた記録の伸びや記録の変化が分かるようにし、できる喜びや伸びる嬉しさを実感できるようにする。
 - ・運動能力向上のために購入した教具を積極的に活用する。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
- ・姿勢体操や五種目歩走等を継続して行い、体力の向上を図る。
 - ・児童会を中心に姿勢体操の見直しを行い、正確な姿勢体操を全校に紹介する。生活時程の中で姿勢体操の時間を位置付けた取組を継続する。
 - ・学級活動、縦割り班活動を生かして、楽しく運動する機会を増やす。
 - ・外遊びを奨励するとともに、児童会から呼びかけて、運動、体を動かす遊びに取り組む。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
- ・チャレンジ週間を充実させ、生活習慣を見直し改善していく。
 - ・体格のデータと生活習慣との関連性を把握し、特に気になる児童について家庭との連携を図る。
 - ・学校での取組を紹介し、地域・家庭にも協力してもらう。